

## 2020年度事業報告

### 学育事業部

事業部長；野田 富美子

#### 【2020年度事業部方針 ビジョン・戦略】

ビジョン:「にじいろの子どもたちが自分の気持ちを伝えてよい場だと思える放課後」

戦略:「子どもを変えるのではなく、私たちが多様な子どもたちを知ろうとする職員になる」

#### 【目的の明確化と各層毎のスキルアップ】

##### ◇活動内容

業務におけるやり方だけを統一するのではなく、物事の目的を一つひとつ明確にすることに努めました。考え方に基づいた行動になるように各会議体や研修、部長と長、職場内などで随時目的は何かを振り返り、自分の言葉で伝えられるように何度も繰り返しました。スキルアップの一つとして、職場長が研修講師を行いました。その研修は多様性を理解することに結びつき、年間を通して次の研修へ繋がるように組み立て、併せて職場長の自己研鑽の機会としました。

##### ◇成果と今後

第2回の意識調査では『展望』について全事業所のポイントがアップし、事業部として4.04となりました。使命やビジョンの言葉の意味の理解、各業務の目的の再確認を行った成果だと考えています。次年度はビジョン達成のために、『放課後の児童の成長の目安の策定』を開始します。提供するサービスを利用者に対して目的、意図を添えて伝えていけることを目指します。

#### 【(年間指導計画や仕様書に基づいた)規律が守られている】

##### ◇活動内容

行政からの委託であることから、独自の取り組みも規律の上に成り立っていることを職場長が理解する必要がありました。そこで、会議や個別のミーティングの際に随時確認を行いました。年度の後半では経理部の協力を得て、月次報告会を事業所毎に行い、事業は予算に基づいて運営していくものであること、予算との差異の確認などを行いました。また、年度当初に立てた年間指導計画を立て、計画的な事業運営を行えるようにしました。

##### ◇成果と今後

コロナ禍の中、板橋区は年間を通して利用制限がかかり、計画通りの運営はままなりませんでしたが、規律を守るということに対する意識は意図的に行った活動により、根付いたと思われます。次年度は規律遵守の上でのひまわり独自(事業所独自含む)の運営をするために、職員の育成プログラムの策定を行います。新規受託に伴う人事異動も多いため、在職年数の短い職員の育成が急務と考えています。

#### 【新規受託】

##### ◇活動内容

新規受託に向けて、提案書、プレゼンテーションの資料作成などを外部の専門知識を持った方に協力を依頼しました。自分たちの考えを整理し、受託へ向けてのプロポーザルにおけるアピールの方法を学ぶ機会となりました。志村第一小あいキッズ及び志村第四小あいキッズの受託に向けてプロポーザルへ参加をしました。

##### ◇成果と今後

志村第四小あいキッズを受託し、2021年度より運営開始しています。2021年度は志村第二小あいキッズの再選定、2022年度には4事業所の再選定があります。事業責任者とともにひまわりの強み、アピールすべき点について考えを統一し、提案書等の見直しを行います。現在受託している事業所の再受託は必須と考えています。また、そのために責任者予定者が自分の言葉でおもいを語れる力、相手の質問の意図を理解し、必要なことを端的に伝える力を育成していきます。

## 江東きつずクラブ豊洲四丁目

## 【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			就	退	就	退			就	退		
															常勤
施設長	1			1								1			1
補佐1	1			1								1			1
補佐2	1			1											
一般職員			5	5		2			2	3	-3	1(1)		3	4
登録型			1	1										1	1
計	3		6	9					2	3	-3	3		4	7

## 【施設運営状況】

- 今年度から土曜きつず、および19時閉所が始まり、1名正規職員増で異動がありました。平日公休も必要となりましたが、業務の分担により残業時間の減少に繋がりました。コロナの感染予防のため、5月までは利用の自粛を区から求められたため利用人数は少なくなりましたが、出来ることは何かを考えて少しずつイベントや活動も増やしていきました。オリンピックに見立てた「とよ4ピック」というイベントを行い、パート職員にも1種目ずつ担当してもらいました。施設全体で盛り上げることが出来、当初1回の予定でしたが児童、保護者からの熱いリクエストにより結果的に3回実施しました。
- 土曜運営は支援児が5名いる状況下でのワンフロアの活動は苦戦し、試行錯誤しながらの運営となりました。年度終わりには1日の流れも固まり集団活動が出来るまでになりました。

## 【利用者支援状況】

- 今まで行えた保護者会や個人面談等が出来なくなり、お迎えの保護者として顔面を合わさない状況が続きました。アンケートに記入があったこともあり、特別号として職員の顔写真と自己紹介を載せたおたよりを発行しました。

## 【施設整備状況】

区から準備した物品  
法人で購入した物品

土曜の支援児により壊れてしまった室内の扉を2回修理  
(生命保険協会補助金により)マット、パーテーション、掃除機

2021年6月18日

**【年間利用状況】**(各月平均利用数) ※区から6月まで感染予防の為利用自粛の呼びかけあり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
平日	19	4	12	22	17	21	19	18	17	14	15	16	194	16.2
土曜	4	5	6	6	6	6	6	7	8	6	6	8	74	6.2
計	23	9	18	28	23	27	25	25	25	20	21	24	268	22.3

**【利用者在籍状況推移】**(各年度3月1日現在)

年 度	平日
2018年度	20
2019年度	22
2020年度	27

**【主なできごと】**

- 6月: アマビエ工作
  - 7月: とよ4ピック
  - 9月: 交通安全教室
  - 10月: ハロウィンパーティー
  - 11月: とよ4ピック、おたより配り再開
  - 12月: 年末お楽しみ会、足し絵コンテスト
  - 1月: 伝承遊び
  - 2月: 節分、とよ4ピック
  - 3月: お楽しみ会、お別れ会
- ※毎月: 誕生会、工作はあり
- ※10月より毎週火曜日 英語であそぼう オンラインでの開催(30分間)
- ※11月よりおたより配り再開

**【苦情内容及び結果の公表】**

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
1件	3年 アンケートより	休校続きで職員に会う機会がない。新しい職員が入っても電話対応のみで信頼関係は築けていない。新年度新しい職員が着任したら名前、写真を掲載して欲しい。
		職員間でアンケート結果を共有し、全職員を載せたお便りを毎月のおたよりとは別に発行した。好きな事等簡単な自己紹介も保護者だけではなく児童からも反応があった。

## 【その他】

### ① 安全管理

- ・ 避難訓練

火災、地震、と場面を想定して避難訓練を行いました。

- ・ 健康管理

児童の朝晩の体温を連絡帳に記入するように依頼し、体調管理に留意しました。

職員も同様に検温、マスクの徹底をしました。体調が少しでも悪いときは相談してもらい勤務可能か確認しました。

ケガや体調不良の児童については、一人だけでなく複数名で確認し、保護者には連絡帳や電話で必ず連絡を取るようにしました。

- ・ 衛生管理

来室時、活動前、活動後のアルコール消毒の徹底をしました。

感染予防の強化として室内消毒を増やしました。チェックリストを作成し、漏れがなく掃除・消毒ができるような仕組みを作りました。

また、おもちゃの数を調節したり、運営後に消毒するなど工夫しながら感染対策をしていました。

保護者にはおたよりや入会説明会で「検温・マスク着用」の徹底を随時お願いしました。

- ・ 安全管理

始礼や終礼の場で全職員に情報共有及び注意喚起をしました。

今年度はアレルギー児童がいませんでしたが、保護者や児童が認識していないアレルギーが潜在している可能性を考慮し、以後も参考となるよう、アレルギーチェックを毎日の始礼で実施しました。

### ② 地域交流

毎月のおたよりを近隣保育園に行き、児童と一緒に配りました。(11月より再開)

直接の交流が持てない代わりにハロウィンでは児童と紙粘土でお菓子を作り、近隣保育園にプレゼントしました。豊洲保育園からは後日お礼の手紙とノートのプレゼントを頂きました。

イラストコンテストを行い、投票を隣のキッズガーデン豊洲の児童にお願いし、紙面での交流をしました。

## 志村第六小学校あいキッズ

## 【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
施設長	1			1								1			1
補佐1												1			1
補佐2	1			1								1(1)			1
一般職員	5(1)		19	24				6	10	-4	1		14	15	
登録型			3	3					2	-2			1	1	
計	7(1)		22	29				6	12	-6	4(1)		15	19	

## 【施設運営状況】

- 新型コロナウイルスの感染防止のため、利用対象者を制限した状態で新年度を迎えました。利用人数が少ないこともあり、例年は慌ただしい中でのスタートですが、受け入れ準備や個別への対応に時間をかけることができたという点においては、職員の気持ちに余裕があったように思えます。
- 「学校の新しい生活様式」に沿って運営をすることが基本となり、子どもたちの習慣となっていた「手洗いうがいが」、「消毒・手洗い」と変わりました。班活動として行っていた部屋の掃除なども職員が行うこととなりました。子ども同士での共同作業が少なくなり、個別での活動が多くなりました。今まで当たり前だったことの多くが変わったことにより、当初不満の声が多く聞かれたものの、年度後半には大人も子どもも変化を受け入れ生活を送ることができるようになっていました。
- 部屋の中で密にならないために、あいキッズ棟の使える部屋を改装し、対面せずに席に座ることができるようになりました。3月には地域の団体(おやじの会)の部屋を譲っていただくことで、学校の教室程の専用スペースを使い運営ができるようになりました。
- 職員の勤務時間の確認不足により、土曜日の朝に児童を受け入れ事故がありました。他の職員(鍵を持っていない)が入室した児童に付き添っていたため、事故や体調を崩すことはありませんでしたが、行政へ再発防止の報告書を提出しています。改善として、児童受け入れ前の始礼で鍵担当を伝える、シフト表に鍵の持ち帰りを明記することを徹底します。また、鍵がなくても敷地内には入れるよう、番号鍵の設置に変更をしています。
- 職員が常時身につけていた施設の電子鍵の紐が切れたことにより、紛失をしてしまいました。鍵の機能をすぐに止めてもらったことで悪用されることはありませんでした。再発防止のためすべての職員の鍵を紐ではなく、金具で束ねて携帯するよう改善しています。

**【利用者支援状況】**

- ・ 保護者会(年4回計画、内1回はコロナ感染拡大により中止)や個人面談を随時実施し、お子さんの様子を伝える機会を持ちました。保護者会は感染予防のため数回に分けて実施したところ、結果としては参加者が増え、多くの保護者にあいキッズの活動や考え方を知っていただくことができました。
- ・ 終礼カードを使ってパート職員が得た情報の共有に力を入れました。その日の内に常勤の終礼で共有し、保護者への連絡が必要な内容は対応し、翌日、出勤した職員全員で共有をしています。

**【施設整備状況】**

区が準備した物品	あいキッズ棟エアコン入れ替え工事、空気清浄機(2台) パーテーション(2台)、サーキュレーター(3台)
法人で購入した物品	特になし

**【年間利用状況】(各月平均利用数) 《さんさん一般は2019年度3月より受け入れ中止》**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	37	26	84	116	98	110	106	109	101	93	97	87	1064	88.7
さんさん														
計	37	26	84	116	98	110	106	109	101	93	97	87	1064	88.7

**【利用者在籍状況推移】(各年度3月1日現在)**

年 度	きらきら	全児童
2018年度	162	502
2019年度	189	430
2020年度	208	381

**【主なできごと】**

- 4月: 自己紹介ゲーム、あいキッズ探検、農園活動、しおりを作ろう、鯉のぼり制作
- 5月: かたつむり工作、農園活動(苗植え)、ブンブンゴマ、ボール投げコンテスト
- 6月: ぴよんぴよんかえる工作、ベル迷路、短冊作り
- 7月: 食育クイズ
- 8月: ホバークラフト、折り紙教室、ロケット工作、ファンルーム、プラバン、めいろ、スイーツデコ、スクイーズ、パッケンチョ、紙皿UFO、風鈴作り、アイロンビーズ、パタパタレース、割り箸鉄砲、
- 9月: 靴とばし、宝探し
- 10月: 宝探し、しっぽとり、アイロンビーズ、障害物競走、ハロウィン工作、ハロウィンゲーム
- 11月: 大縄遊び、ジグザグリレー、さつまいも収穫祭、大根収穫、ポンポン作り、ブロッコリー&カリフラワー収穫、
- 12月: ポンポン作り、イチョウの薔薇作り、じゃがいも掘り、しっぽ採り、お楽しみ会
- 1月: 障害物リレー、集団遊び、リレー大会、キッズチャレンジ、スネーク凧、昔あそび、ひょうたん鬼、節分工作

2021年6月18日

- 2月: お豆さんが転んだ、鬼々バスケット、鬼退治ゲーム、たたいて守ってじゃんけんポイ、プラズマレース、バレンタイン工作、塗り絵コンテスト、こどもチャレンジ、ファンルーム、ひなまつり工作
- 3月: キッズチャレンジ、農園活動、足し絵コンテスト、マスクケース作り、綱引き、ちょうちよ作成、お楽しみ会  
早歩き駅伝、アイロンビーズ
- ※3月はコロナウィルス感染拡大予防のため、外部講師による活動はすべて中止とした。

※英語で遊ぼう、毎週金曜日 リモートにて実施

※しゅくだい先生、コロナ禍のため不定期開催

※サポーター事業、コロナ禍のため不定期開催

### 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法	
3件	2年 きらきら Aの保護者	支援が必要な児童が折り紙をゴミ箱に投げたことを、保護者に「物を投げた」と表現したことについて、不適切だと注意をいただく。	今までに何度も物を投げたことによるトラブルがあったため、保護者としては「物を投げる」ということに敏感になっていた。事の大小を判断するためにも適切な表現を心がけると謝罪をした。
	3年 きらきら Bの保護者	家の鍵を忘れた児童(C)がいたため保護者に連絡を取り、安全を確認した上で帰宅させた。Cの保護者がBの保護者に預かりをお願いしたところ、Bの保護者より「うちの子は以前鍵がなかった時にあいキッズで預かってもらえた。先生によって対応が違うのですか?」のご意見をいただく。	児童の安全が確保できない場合は区分に限らず預かるが、今回はBの保護者に連絡をして帰宅させても良いと判断されたため帰宅させたことを伝える。
	2年 きらきら Aの保護者	子どもが帰宅のため送り出す職員が外に出た際、外で立ち話をしている方々に「(子どもが)何かやりましたか?」と質問したところ、保護者の友人がCの保護者に「先生に(Cが)何かやりました?って聞かれたよ。」と伝えた。Aの保護者としては自分の子が「第三者に何かやりましたか?」と問題を起こした前提で聞くのはおかしい。と指摘をいただく。	職員はAの保護者と外にいた方のつながりは知らなかったもので、特定の子どものことを差して言ったのではなく、「あいキッズの子どもが何かしたか」という意味で伺った旨を伝えた。

## 【その他】

### ① 安全管理

#### ・ 防災訓練

地震や火災に備えた避難訓練を9回実施しました。(内、引き渡し訓練は中止)

毎月一回の避難訓練(地震・火災)

#### ・ 健康管理

アレルギー児童へは保護者と面談の上、安全な補食を提供できるように配慮しました。主に複数名での確認、アレルギー児童は専用のお盆にて提供をしています。

受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。

猛暑の時期には、外遊びの合間に水分補給の休憩時間を設けて、児童及び職員の体調管理に努めました。

また、マスクを付けた状態での活動となるため、休憩の際にマスクを外して呼吸を整えること

に気をつけました。

#### ・ 衛生管理

多くの人に触れる特定の箇所(手すり、ドアノブ、電話、スイッチなど)を毎日消毒することを続けています。

児童来室時には職員が手洗い場に立ち、石鹸を使った手洗いの徹底を呼びかけました。また、活動の切り替えのタイミングで手を洗うようにしています。

毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しました。

活動場所が広く、掃除が行き届かないという問題を解消するため、「環境整備」という職員配置を設けることで、日々の掃除場所以外も定期的に掃除をすることができるようになりました。

#### ・ 安全管理

学校の校舎内に不審者が侵入してしまった対策として、あいキッズの門も施錠の強化をすることになりました。学校に残っている生徒の下校が終わるまでは、常時施錠をすることにしていきます。

### ② 地域交流

蓮根東町会長や近隣商店の力を借りて、志村第六小あいキッズの強みである「あいキッズ農園」での自然体験に力を入れました。今年は、野菜を育て収穫するだけでなく、お米屋さんから米ぬかを寄付してもらい、土壌改良に活用させていただいています。協力していただいている地域の方にお礼として収穫した野菜を配って回りました。

年2回開催する「あいキッズ運営協議会」は、書面開催といたしました。顔を合わせないため協議とはなりませんでしたが、次年度に向け繋がり続けるためにも、毎月のおたより配りは続けていきます。

板橋コミュニティースクール(ICS)の委員として年5回開催される協議会(内2回は書面開催)に参加しました。

赤塚第二中学校で開かれた「身近な教育委員会」に参加をしました。2021年度秋から本格的に始まる「GIGAスクール」について説明を受け、あいキッズの環境や取り扱いについて、直接行政に伝えることができました。

## 大谷口小学校あいキッズ

## 【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
施設長	1			1								1			1
補佐1															
補佐2	1			1		1				-1					1
一般職員	1		9	10					1	-1	2		7	9	
登録型			1	1									1	1	
計	3		10	13		1			1	-2	3		8	11	

## 【施設運営状況】

- 新型コロナウイルスの流行により、年間通して継続的に感染防止対策に取り組みました。手洗い・消毒を徹底し、昼食や補食時は一人一台のテーブルに座り同じ方向を向いて食べる、3密状態にならないような遊びの仕掛けを工夫しました。学校には協力連携をお願いし、学習や活動の場所を日常的な提供していただきました。またドアノブ・手すり・おもちゃの消毒も続け、感染予防に努めました。
- 5月に個人情報を含んだ可能性のあるUSBを紛失する事故を起こしました。事故が起きた原因や問題点を分析し、再発防止のための具体的な取り組みを考えました。個人情報の取り扱いについて全職員で研修を行い、見直しが必要な仕組みは一つずつ改定しました。施設内で徹底できていなかった5Sの取り組みと共に、職員一人一人が気付きや想いを発信し合えるチームを目指し、職長が率先して気づきを発信したり思いを伝えることから始め、意識改革を進めました。

## 【利用者支援状況】

- 利用制限により参加できない児童にステイホームやソーシャルディスタンスを保てるような遊びを提案することで、子どもたちの放課後が少しでも楽しいものとなり、家庭支援に役立てればと考え、あいキッズ便りにて家で楽しめる遊びの紹介をしました。
- 緊急事態宣言中の休校時は、学校からの学習課題に取り組む時間を設定しました。小学校の授業を受けていない1年生にとっては、一人で課題に向き合うことは簡単なことではありませんでした。少しでも机に向かって集中する練習に繋がったのではないかと思います。
- あいキッズの利用に関してご理解いただけるよう、次年度の利用申請期間前に「申請説明会」、申請登録後に「利用説明会」を実施しました。また、学校の「新一年生保護者会」でもお時間を頂き、あいキッズの概要説明と手続きについてお伝えしました。

2021年6月18日

**【施設整備状況】**

区が準備した物品 空気清浄機（3台）、扇風機（3台）、サーキュレーター（3台）、洗濯機  
 法人で購入した物品 掃除機、金庫、シュレッター

**【年間利用状況】**(各月平均利用数) ※さんさん一般は年間を通して利用中止、支援の必要な児童を受け入れた

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	19	17	40	54	48	57	56	55	53	53	55	51	558	47
さんさん	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	5	0
計	20	17	41	54	48	57	57	56	53	53	56	51	563	47

**【利用者在籍状況推移】**(各年度3月1日現在)

年 度	きらきら	全児童
2018年度	78	296
2019年度	81	302
2020年度	94	312

**【主なできごと】**

- 4月： 一年生タイム、ハンドベル教室、紙コップロケット工作、こま工作、こいのぼり工作
  - 5月： プラズマカーレース、ぬりえチャレンジ、ボッチャ、けん玉タイム、宝探しゲーム、スポピン大会
  - 6月： 卓球タイム、紙飛行機チャレンジ、けん玉タイム、フリースローチャレンジ、七夕工作
  - 7月： 卓球タイム、けん玉タイム、オンリーワン、お弁当工作、日本を知ろう、ハンドベル教室、国旗クイズ
  - 8月： ミサガ教室、ボッチャ、卓球タイム、プラバン工作、ハンドベル教室、割り箸でつぼう工作、けん玉タイム、アイロンビーズ工作、千羽鶴チャレンジ
  - 9月： 卓球タイム、十五夜ピカピカどろだんご、けん玉タイム、キッズチャレンジオンライン、ピクトグラムクイズ、日本を知ろう(島根県)、キラキラ宝石箱工作、ハンドベル教室、オンリーワン工作
  - 10月： けん玉タイム、卓球タイム、ハンドベル教室、ぬりえチャレンジ、ピクトグラムクイズ、ハロウィン工作
  - 11月： けん玉タイム、卓球タイム、ハンドベル工作、シッティングバレー、牛乳パックグライダー工作、日本を知ろう(鹿児島)
  - 12月： ハンドベル教室、けん玉タイム、卓球タイム、クリスマス工作、おたのしみスポーツチャレンジ、レッツクリーニング
  - 1月： お正月あそび、けん玉タイム、卓球タイム、ウォーミングアップチャレンジ、ハンドベル教室、節分豆でつぼう工作
  - 2月： 節分ゲーム大会、けん玉タイム、卓球タイム、ウォーミングアップチャレンジ、ハンドベル教室、でんでん太鼓工作
  - 3月： 本を知ろう(福岡県)、卓球タイム、縄跳びチャレンジ、けん玉タイム、大富豪大会、ハンドベル教室、ペーパーブーメラン工作、将棋大会、レッツキックベース
- ※英語で遊ぼう：毎月3回 10月からオンラインにて実施  
 ※サポーター事業：コロナ禍のため不定期開催(将棋、琴教室)

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
4件	3年 保護者	インターホンを3回押したが応答がなかった。壊れているのではないか。	インターホンは壊れていないが、室内の状況により職員が出られない場合がある。応答がない場合はそのまま入室していただくようお願いした。
	2年 保護者	児童の帰し間違いについて、不審者の出現もあるので帰し間違いには注意してほしい。	職員間の連携不足が原因。下所時間の変更を受けた際は職員間で情報共有し、該当児童にも伝えることを徹底し、再発防止に努めることを約束した。
	1年 保護者	職員から“あいキッズカードを紛失した場合は、下所時間変更があれば学校の連絡帳に書いて知らせしてほしい”と言われ記入したのに、下所時間について問い合わせの電話連絡があった。	職員間の情報認識違い・共有不足が原因。カード紛失時はカードのコピーを渡し使用してもらおう対応を再度確認・共有し、再発防止に努めることを約束した。
	1年 保護者	職員Aが帰り支度を促す声掛けをすると、いつも機嫌が悪くなる。帰るときに機嫌が悪くなるとこちらも大変なので、急がせないでほしい。	帰り支度を促す職員の声掛けについて、状況や児童の特性を理解した声掛け・対応について再共有し、改善に務める旨をお伝えした。

## 【その他】

## ① 安全管理

## ・ 防災訓練

火災や地震などの災害時を想定した避難訓練を11回実施しました。

(内、引き渡し訓練1回、防犯訓練1回含む)

防犯訓練では、警察署より借りた不審者訓練に関するDVDを鑑賞し、登下校や一人で道を歩いているときに不審者に遭遇した場合の注意事項などを確認しました。

## ・ 健康管理

アレルギー児童へは保護者と面談の上、安全な補食を提供できるように配慮しました。

受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。

猛暑の時期には、暑さ指数(WBGT)に基づき、31℃以下の外遊び可能な日のみ屋外で遊び、水分補給の休憩時間を設けて、児童及び職員の体調管理に努めました。また、マスク着用時には、マスクを外して呼吸を整えるよう呼びかけました。

## ・ 衛生管理

毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しました。児童には手洗い・消毒の励行の呼びかけをし、ハンカチ持参が習慣化するように努めました。児童の使用する玩具や施設内の手の触れる部分(ドアノブ、電気スイッチ、手すり、テーブル、椅子など)の消毒を日々実施しました。

学習や補食提供時は同じ方向を向き座り、マスクを外している時には話をしない、人との距離を空けることを励行の呼びかけをしました。

2021年6月18日

- ・ 安全管理

事故や怪我が起きないよう、活動前には施設内・校庭の点検を行いました。

職員配置に不備のない様、毎日のミーティングで確認してから児童対応を行いました。

- ② 地域交流

毎月発行している『あいキッズ便り』は、学校を通して全校児童に配付するとともに、運営協議委員や補食提供で取引のある地域の商店、サポーター講師の方などにもお配りすることを続けています。

年二回開催の『あいキッズ運営協議会』は、書面開催としました。一方的な報告となりましたが、お電話や直接お会いできた方とは、あいキッズへのご意見を頂いたお問い合わせに対してご回答しています。

## 上板橋第二小学校あいキッズ

## 【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
施設長	1			1								1			1
補佐1															
補佐2	1			1											
一般職員	1		14	15				1	3	-2	1		12	13	
登録型								1		1			1	1	
計	3		14	17				2	3	-1	2		13	15	

## 【施設運営状況】

- ・ 長年勤めている職員と新入職の職員の温度差やもともとある風土を変えるべく、温かみのあるチーム作りを行ってきました。職員が互いをフォローしながら働くことで温かみが生まれ、それが子どもたちにも良い影響を与えていくことを目指し【40℃戦略】と名付け、運営し、少しずつ風土も変わってきています。
- ・ 職員によって対応が異なることのないように、あいまいになっているルールの確認を進めました。意図や目的を合わせて確認していくことで、基本的な考え方から揃えるようにしました。

## 【利用者支援状況】

- ・ 休校中の学習支援について、学校の課題に沿って行えるように時間と場所の設定をして取り組みました。
- ・ コロナ禍の中でも子どもたちができる(楽しめる)ことを追求し、日々のプログラムを工夫しながら運営しました。
- ・ 低学年の学校担任と情報交換を繰り返し、学校とあいキッズで対応に極端な差が出て、児童、保護者が戸惑うことのないようにしました。
- ・ 保護者お迎え時の会話を大事にし、できるだけその日の子どもの様子を伝えることで連携を心がけました。

## 【施設整備状況】

区から準備した物品	コスモス室の湯沸かし器交換、生活科室のおもちゃ用ワゴン2台、生活科室の靴箱、空気清浄機 サーキュレーター
法人で購入した物品	(生命保険協会補助金利用) 机、フローアーマット、掃除機

2021年6月18日

**【年間利用状況】**(各月平均利用数) 《さんさん一般は一年間受け入れ中止》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	33	23	58	74	65	77	75	77	72	68	73	67	762	64
さんさん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	33	23	58	74	65	77	75	77	72	68	73	67	762	64

**【利用者在籍状況推移】**(各年度3月1日現在)

年 度	きらきら	全児童
2018年度	128	218
2019年度	128	218
2020年度	146	190

**【主なできごと】**

- 4月： 1年生タイム、校庭探検、こいのぼり工作、宝さがし
  - 5月： ミニイナズマサッカー、パッチンカエル工作、チャンバラフェンシング、折り紙教室
  - 6月： 紙飛行機チャレンジ、ダンス教室、七夕工作、オリパラクイズ
  - 7月： 折り紙びゅんびゅんゴマ、音と遊ぼう、近代五種パロディ
  - 8月： スクイズ工作、夏休みチャレンジ(トランプ、すごろく、レシピ、ドンジャラ等)、パラシュート工作
  - 9月： 壁面工作(秋)、キッズチャレンジオンライン、ピカピカ泥だんGO！
  - 10月： ハロウィン工作、1年生タイム・人間将棋
  - 11月： 冬の壁面工作、上二鬼狩り隊、ダンス、
  - 12月： あみあみ工作、パーティー工作、イベント総集編
  - 1月： 大縄、キックベース、ドロケイ
  - 2月： 一輪車初心者デー、バレンタイン工作
  - 3月： 検定チャレンジ、ぬりえコンクール、壁面工作(春)、サッカー大会、ビンゴ大会、上二チューブ鑑賞
- ※コロナウィルス感染拡大予防のため、外部講師による活動は基本的にすべて中止とした。
- ※10月以降月3回水曜日、英語であそぼうオンライン実施
- ※毎週月曜日、一輪車デー
- ※毎週金曜日、イナズマサッカー
- ※月1回、だいやのエース(野球、10月以降)、なでしこサッカー(12月以降)、音と遊ぼう(10月以降)
- フットサル教室(1月以降)
- ※サポーター事業、読み聞かせ、将棋教室(11月、12月)

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法	
6件	1年保護者 きらきら	家に帰ってから足の痛みを訴えた。 校庭遊びは強制なのか？	怪我を伝えていなかったことをお詫びし、 校庭遊びは自由参加であることを伝えた。
	3年保護者 きらきら	利用対象緩和について いつから自粛が解除されていたのか？ メールが送られていたか？	板橋区よりホームページ更新についてのメ ールが送信されたことを伝えた。
	1年保護者 きらきら	学校の名札がランドセルのフックに引っ掛か って取れない。友だちがやったと言ってい る。	相手に確認したところ、困っているように見 えたため手伝ったとのことだったと伝えた。 職員が見られていなかったことを謝罪した。
	4年保護者 きらきら	上履きの用意が間に合わず、外履きを綺麗 にして持たせたが、職員に履くときつく言 われ、傷ついた。もうあいキッズに行きたくな いと言っている	ひまわりの部屋のマットの上では上履きを 脱ぐように伝えたつもりだったが、きちんと 伝わっていなかったこと、きつい言い方にな っていたことを謝罪した
	2年保護者 きらきら	あいキッズで遊ぶ約束をしようとしても拒否さ れることがあり、行きたくないと言っている。 該当者を集めて指導できないか。	児童に聞き取りをし、やり取りの中できちん と返事をしていないなど、拒否していると られてもおかしくない場面があったことを確 認し、該当児童数名に対して指導をしたこと を伝えた。
	1年保護者 きらきら	職員の口調について 1年生に対する口調としては厳しすぎる。 その状態を周りの職員が見て見ぬふりをして いる	口調が以前よりも改善されていると認識して いたため、注意が出来ていなかったことを 謝罪し、ご指摘いただいたことでチームとし ての課題が明確になったことへの感謝を伝 えた。

## 【その他】

## ① 安全管理

## ・ 防災訓練

地震や火災に備えた避難訓練を9回実施しました。(内、引き渡し訓練1回を含む)

## ・ 健康管理

アレルギーがある児童の保護者と定期的に話をし都度情報を更新していきました。

活動中の水分補給や、手洗い、うがいなど時期に合わせて必要なことを重点強化していきました。

児童来所時に、顔色や声色を確認し、日々の体調の変化に気を付けてきました。

## ・ 衛生管理

毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しました。

アレルギーチェックはダブルチェックを行い抜けがないようにしました。

コロナ対応で児童の座り方は一方向を向き3密に注意して運営してきました。また、人数が多い場合に合わせ  
てパーティションを制作しました。日々消毒作業を行っています。

2021年6月18日

- ・ 安全管理

前日に起きた怪我やトラブルは始礼時に共有し同じことが起こらないように対応しました。

校庭の安全チェックは校庭遊び前に行い危険物の除去や遊具の点検を行い事故に繋がらないよう努めてきました。

- ② 地域交流

あいキッズ運営協議会を9月と3月に書面開催しました。9月は主にそれまでの施設運営状況の説明とコロナウィルス感染対策の内容を記載した書面を配布し、3月は運営の振り返りと次年度に向けた運営方針を記載した書面を配布しました。

## 志村坂下小学校あいキッズ

## 【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
施設長	1			1								1			1
補佐1	1			1								1			1
補佐2	1			1											
一般職員	1		18	19	1				1	2	0	2		14	16
登録型														2	2
計	4		18	22	1				1	2	0	4		16	20

## 【施設運営状況】

- 前年度より課題としてきた施設環境の整備を進めることができました。整備後で上手くいかないことがあれば、変更をしていけるように定期的に見直しも行いました。まだまだ、整理ができる部分があるので、継続して進め、動線を意識した定物定位置を確定していきます。
- 2020年度は『様々な声に耳を傾けられる職員』をあるべき状態として運営してまいりました。新型コロナウイルス対策のために、あいキッズでの活動にも様々な制限がありました。そこで、例年の取り組みも活かしながら新たな活動を展開していくために職員同士でアイデアを出し合ったり、子どもたちからの意見を取り入れるなどして、三密を避けられて、個人でも楽しめるあそびを提供できるように工夫をしました。
- 業務の担当を決め、円滑に運営ができるように進めました。それぞれが担当を意識して取り組むことで、期限内に完了することはできていましたが、計画的に進められてはいなかったため、業務分担の不透明感が目立ちました。そこで、次年度は普段の業務の可視化や、何のためにすることなのかなど目的も合わせて伝えていくことで、チームメンバー全員がお互いの業務を理解しながら協力できるようにしていきたいと思っています。
- 学校との連携において、日々の挨拶や、学校内での感染予防対策についての情報共有を欠かさず行い、児童が安全に過ごせるように努めました。授業時間で「三密」対策のために、複数の教室を使用していたため、あいキッズの使用できる教室が日々受け入れ時間になってからの変更が起きてしまうことも多々ありました。毎日の確認を行って使用する部屋への円滑な移動ができるように配慮しました。また、活動終了後には清掃、消毒を徹底して行うことを続けた結果、年度の終わりでは、学校からきれいに使っていることに対して感謝の言葉を頂くことも出来ました。

**【利用者支援状況】**

- ・ お迎えの時には、その日の様子を可能な限り保護者の方に伝えていくように心がけました。感染予防に努めていることや、工作教室などの行事のお知らせなどを伝えることで、あいキッズの取り組みを知っていただくことができました。また、個別で友だちとのかかわりで気になる点と相談があった場合には、当日のお迎えだけでなく、一定の期間の様子を電話でお伝えしたり、必要に応じて個人面談を行いました。
- ・ 学校との連絡・連携が重要と考え、副校長とだけでなく、状況に応じて各クラスの担任とも互いに児童に関する情報の交換や共有を図りました。学校担任からの相談件数も月を追うごとに少しずつ増えてきました。
- ・ 指導記録や、児童の前日の様子をまとめた資料を用いて、職員間で情報の抜け漏れがないようにしました。また、重要な情報に関しては始礼の場で全職員が知ることができるように継続して伝えていくようにしました。
- ・ 職員からの意見や、疑問点をまとめ、回答をした際にその場にはいない職員でもわかるように事務連絡で変更点をまとめました。

**【施設整備状況】**

区で準備した物品                      サーキュレーター:8台                      空気清浄機:2台  
 法人で購入した物品                      特になし

**【年間利用状況】**(各月平均利用数) 《さんさん一般は年間で受け入れ中止の為、入力無しとする》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	32	26	79	98	82	97	97	99	89	77	80	76	932	77.7
さんさん														
計	32	26	79	98	82	97	87	99	89	77	80	76	932	77.7

**【利用者在籍状況推移】**(各年度3月1日現在)

年 度	きらきら	全児童
2018年度	139	406
2019年度	154	394
2020年度	182	567

## 【主なできごと】

- 4月: サッカートレーニング、駅マラソン  
 5月: 障害物レース、母の日工作  
 6月: ルービックキューブ講座、オンリーワン講習、けん玉検定  
 7月: 風鈴工作  
 8月: プラバン工作、スクイーズパン作り、ミサンガ作り教室  
 9月: 坂下チャレンジカップ、万華鏡工作、キッチャレオンライン  
 10月: ミサンガ教室、ハロウィン工作  
 11月: UFO工作、葉づくり、秋探し  
 12月: クリスマス工作、お正月メッセージカード作り、福笑い工作  
 1月: だるまさんの一日、縄跳びチャレンジ、凧工作、羽根つき大会  
 2月: バレンタイン工作、小人探し、ひな祭り工作  
 3月: 空き箱工作、自由工作、フォトフレーム工作、新聞紙ゲーム、弁当工作

※毎月、避難訓練、ぬりえコンテストを実施しています。

毎週金曜日 九曜サッカー教室 第一・第三火曜日 英語であそぼう 10月からオンライン開催

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
3件	1年 保護者	就労があるためあいキッズに預けたいが、コロナ禍で利用できる学年に制限があり、兄弟(姉妹)で預けることができずに困っている。	都度、行政には相談として伝えるようにした。しかし、現状で規定が変わることがないことを誠心誠意伝えるようにした。利用制限緩和後、利用が開始した際には普段の様子や、利用していない期間に成長をしたと感じたことを伝えるようにした。
	3年生 保護者	帰宅方法の変更(迎え→一人帰り)の電話を受けた際に、なりすまし電話防止のために折り返し電話をかけるタイミングが遅くなってしまい、その後繋がらなかったため、全ての連絡先に電話を掛けられてしまい迷惑だった。	電話を受けた際に、どの連絡先に折り返すのか確認をせずに電話を切ってしまったことや、状況によってすぐに掛け直しができないことを丁寧に説明できていなかったことを謝罪した。今後は、電話を受けた際には必ずどの電話番号に折り返すのか確認することを職員全体に周知をして再発防止に努めるようにした。
	2年生 保護者	平日の延長利用を申請したいと考えて職員に相談をしたのに、間違った説明をされていたために、延長時間が利用できなくて困っている。	職員の説明の仕方が曖昧であったことをお詫びした。保護者の状況を確認して、補食の提供は出来ないが、児童の安全のために、承認が下りるまでの期間預かりをすることとした。補食提供時に必ず点呼をしていたが、その際に区分を確認できる方法がなかったため、区分変更がなされないまま預かってしまっていた。点呼で使用する入退出のカードに目印のシールを付けるようにした。

## 【その他】

### ① 安全管理

#### ・ 避難訓練

毎月、様々な場面を想定した避難訓練を行いました。コロナ禍で実際に避難をしての訓練ができないため、説明を丁寧に行い、実際に災害が起きたときに速やかに行動できるようイメージ共有をしました。

下校時には交通ルールを守って安全に帰宅出来るように、必ず注意喚起をするようにしました。また、不審者に遭遇した時の対処法についても伝えるようにしました。

#### ・ 健康管理

アレルギー児童については、予め保護者にアレルギー調査票に記入してもらい、面談をして、慎重に配慮・対応しました。補食時にアレルゲンが入っている食品を提供する場合、対象の児童だけではなくアレルギー児童全員の補食を代替食で提供するようにしました。職員の誰もが正しい準備や配膳が出来るようにマニュアルを準備するスペースに掲示をしていつでも確認ができるようにしています。また、アレルギーだけではなく、賞味期限切れなどの事故も防ぐために毎月月末に確認をし、誤提供の防止に努めました。

受付にて児童への視診を行い、体調の悪い児童には都度対応しました。

ケガをしてしまった児童や体調不良の児童について、状況に応じて一人の判断ではなく、複数の職員で確認を行いました。全職員が情報を共有できるように処置簿への記入を徹底しました。また、首から上の怪我に関しては、その後大きな体調の変化に繋がるかもしれないことを考慮して保護者に電話で状況を伝えることを徹底しました。

#### ・ 衛生管理

担当者を決め、施設の衛生点検を随時行いました。

補食やトイレ等の衛生管理状態を毎日点検し、チェック表への記入を行いました。

#### ・ 安全管理

台風や地震の後に施設の破損個所の点検を行いました。

その日に感じたヒヤリハットを毎日全員が記入し、チーム内で共有することで危険に対する意識を高めました。必要に応じて、会議の議題として取り上げ、全職員に注意喚起を行いました。

### ② 地域交流

年二回開催予定だった「あいキッズ運営協議会」は書面での開催となりました。直接対面での意見交換をすることは出来ませんでした。毎月のおたより配付をするようにしました。

サポーター事業は、安全面の観点から開催を全て中止としました。メールでの連絡を定期的に行い、開催できた時には、今後も力を貸していただければ幸いです。楽しみにしていることを伝えています。

## 若木小学校あいキッズ

## 【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
施設長	1			1								1			1
補佐1		1		1									1		1
補佐2															
一般職員	2		19	21		1			2	-3	2		17	19	
登録型			2	2					1	-1			1	1	
計	3	1	21	25		1			3	-4	3	1	18	22	

## 【施設運営状況】

- ・ 非常勤職員の入れ替わりが無かったので、比較的安定して運営できていました。正規職員は大きく入れ替わったことで、コミュニケーション不足から一時職員間での考え方のずれが見られました。前向きに目的と小目標を伝え続ける事で良好なコミュニケーションが取れるようになってきました。
- ・ 児童指導で苦慮する職員が多い状況でしたが、要支援児対応研修、日々のアドバイスなどを取り組みに結び具体的な働きかけを意識した関わりが持てるようになり、戸惑う場面が減少してきました。

## 【利用者支援状況】

- ・ 学習支援として集中して静かに学習することを目指しました。その習慣付けのために、職員は児童全体への声掛けと、一人ひとりへの個別の声掛けのタイミングやバランスを考えながら児童に関わってきました。また、読書が苦手な児童が関心を持てるように、絵の多い絵本やコミカルな内容の絵本を多く提供したことで、読書する児童が増加しました。
- ・ 地域サポーターによる「そろばん教室」を実施する予定がコロナウイルス対応で、残念ながら実施することができなくなってしまいました。その代わりに何かできないかと考えた結果、知識を増やす為の謎解きやクロスワード、プリントを使用した学習補助を行ないました。
- ・ 電話やお迎えの保護者対応時、相手に気持ちよく受け取ってもらえるように、職員間で言葉遣いや挨拶、表情などに気を配るよう伝えてきました。
- ・ 児童と保護者が家庭で過ごす機会が増えたことを意識して、家庭でも遊べる玩具や遊びを積極的に育成に取り入れてきました。お便りなど様々な方法で発信出来たことで、保護者の方から「購入してみました」「面白いですね」という言葉を頂きました。

2021年6月18日

**【施設整備状況】**

区から準備した物品 卓上サーキュレーター、扇風機、空気清浄機  
 法人で購入した物品 なし

**【年間利用状況】**(各月平均利用数) <<利用制限により、さんさん一般は年度を通して受け入れ中止>>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	36	27	60	85	78	83	83	83	80	72	74	73	834	70
さんさん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	36	27	60	85	78	83	83	83	80	72	74	73	834	70

※4月1日から6月22日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止の為の利用制限により、きらきらタイムの1～3年生・さんさんタイムオレンジの1・2年生のみ

**【利用者在籍状況推移】**(各年度 3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
2018年度	118	417
2019年度	138	389
2020年度	162	368

**【主なできごと】**

- 4月: はじめて工作、こいのぼり工作、避難訓練、医療従事者の方への応援メッセージ作成
  - 5月: みんなdeあそぼう(しっぽとり)、ぬりえギャラリー、千羽鶴づくり、避難訓練
  - 6月: ぬりえコンテスト、避難訓練、かまぼこ落とし
  - 7月: 七夕工作、夏野菜収穫、ピカピカどろだんご、食育講座
  - 8月: i TUBE、風船すいかわり、ピカピカどろだんご、けん玉検定
  - 9月: 引渡し訓練、張りぼて工作、謎解きチャレンジ
  - 10月: 避難訓練、ハロウィン工作、逃走中、リアル野球盤、ハーブの香り比べ
  - 11月: 人間将棋タクティクス、くねくねロード、かたき、ハンドベル、避難訓練
  - 12月: 年賀状工作、避難訓練、年末お楽しみ会、百人一首教室、カードゲーム&ボードゲーム講座
  - 1月: 伝承遊び(ベーゴマ)、百人一首大会、クラフト教室、避難訓練
  - 2月: 鬼狩り隊、バレンタイン工作、リクエスト遊び(かたき、くねくねロード、サッカー)、避難訓練
  - 3月: 避難訓練、おたのしみ会、サッカー大会、ろくむし、ドボチョン、パラリンピック選手交流会
- ※毎月開催 若木チャレンジ、クラフト教室
- ※11月から月3回 英語であそぼう教室
- ※サポーター事業 イラスト教室、そろばん教室、ミニバス教室、浴衣着付け教室 ※すべて中止
- ※寺子屋連携事業 漢検プレテスト(6月・1月)・算検プレテスト(7月・2月) ※すべて中止

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
8件	3年女児 保護者	コロナ対応で、原則お迎えになっているのに、お迎えしていない児童がいる。	児童の安全を考えた原則であり、お願いをしているが、やむを得ない事情がある場合には、事前にご相談頂くことで対応すると伝え、ご納得頂いた。
	2年男児 保護者	名前を書いているはずだが見当たらないので、履き帰った靴が同じ種類の同じサイズでも本人のではない。納得がいかない。コロナで、他の児童が履いたものが戻ってきても使えない。	あいキッズに残っているものを確認し、その日利用していた似た靴を履いていた児童にも確認。再度、本児の靴を確認した結果、本児の勘違いと判明。名前も無かったが「書いたつもりだったが、使っているうちに消えたかも知れない」とのことで、保護者の方の誤解も解けた。
	3年女児 保護者	母お迎え時に、近くにいた職員が別の児童対応をしていて、本児の呼びかけに気づいていない様子があった為、「児童に気づけないのは、どうしてだ」「児童を見るのが仕事のはず」とクレームになった。	対応しなければならぬことが同時に発生する可能性があることはご理解頂いたうえで、対応の優先順位の判断が遅れたことを謝罪し、誰かが個別対応に当たる際には、他の職員が代わりに対応できるように情報共有をしていくことを伝えた。その後、施設内で統一した対応が取れるよう、始礼などで繰り返し確認をした。
	4年男児 保護者	直前に嫌なことがあったからといって、施設から飛び出していく児童を止められなかったのは、安全管理の意識不足と思う。	直前の対応で児童の気持ちをしっかり受け止めなかったこと、気づいてはいたが、飛び出す前に止められなかったことを謝罪。飛び出す前の対応で、児童の気持ちを受け止めていくことを伝えた。
	1年男児 保護者	友だちとのトラブルが起こったことに対し、職員の対応が聞き取り不十分なまま一方的に行われていた。	職員の聞き取りが、不十分だったことを謝罪。本児との関係修復に努めることと、チームでしっかりと聞き取りをしていくことを伝えた。
	3年女児 保護者	お迎えに来たら、子どもが呼んでいるのに職員が気づいていなかった。作業が多いのは分かるが、気づくことは出来るはず。	直前までその場を担当していた職員が、個別対応でその場を離れるときに必要な声掛けを抜かしてしまったことを謝罪した。 目今の作業だけでなく、必ず一人は児童を気に掛けられるようにしていくことをチームで確認。
	3年女児 保護者	サッカーで上級生のボールが頭に当たったのに、すぐに連絡をしないのは、おかしい。脳血腫になったら、どうするのか。	首から上の出来事だったのに職員の判断ですぐに連絡を入れなかったことを謝罪。首から上の出来事について、個人の経験で判断せず、必ず状況を伝えるようにしていくことを伝えた。
	4年男児 保護者	子どもが帰宅時間が分からないからと言って、仕事が忙しい時間帯に、帰宅時間確認の電話をしてくるのは、おかしい。	子どもが帰宅時間を分かっていない時は、安全の為に確認の電話をすることは伝えた上で、電話のタイミングに配慮できる部分があったことを謝罪。チームで電話連絡のタイミングについて確認した。

## 【その他】

### ① 安全管理

#### ・ 避難訓練(7回)

地震や火災時の避難方法など、時期や種類に合わせて訓練しました。

初めて補食中に避難訓練を実施し、コロナ禍で新たに配慮が必要になった部分や動き方を学びました。

#### ・ 健康管理

猛暑の日が多く、外遊びの間にこまめに休憩時間を設けて、熱中症対策とコロナ対策の両立に努めました。学習から遊びなど、場面の切り替え時や共有物を触る際には、手洗いと消毒をするよう、年間を通して指導してきました。(新型コロナウイルス感染予防)

補食中は会話をしないこと、全員が一方向を向いて、「ごちそうさま」まで横や後ろを向かないことを指導しました。

#### ・ 衛生管理

毎日、補食の配膳担当者が衛生点検を実施しました。

補食の提供方法について、職員間で確認・共有する場を設けました。

嘔吐処理の研修を行いました。

#### ・ 安全管理

施設内で起きた事故の検証と未然防止に向けた職員配置や動きの見直しを行いました。

書庫等の保管書類の整理をしました。

### ② 地域交流

地域サポーターによる各教室や、PTA主催の行事(PTA 祭り)、町会の行事や寺子屋事業主催のイベント、中台地区の『さくら草まつり』と、参加予定でしたが、全て新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となりました。

医療従事者の方への応援メッセージを作成したものを病院で飾ってくださったり、作成した千羽鶴を中台地域センターのエントランスや学校に飾って頂きました。

要保護児童対策地域協議会に責任者が参加し、地域の関係各所の主要メンバーと情報共有しました。

## 志村第二小学校あいキッズ

## 【職員の状況】

職名	2020年4月1日の職員数				年間就任・退任						2021年4月1日の職員数				
	正規職員 (内休業職員数)	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	正規職員 (内休業職員数)	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
施設長	1			1							1	1			1
補佐1	1			1							1				
補佐2												1(1)			1
一般職員	3(1)		11	14		1				2	1	2		11	13
登録型			2	2						1	1			1	1
計	5(1)		13	18			2	1	3	5	15	4		12	16

## 【施設運営状況】

新型コロナウイルスの感染防止のための利用制限で通常の半分以下の来室人数で新年度をスタートしました。例年は新入生の受け入れに奔走する4月ですが、個々に関わる時間を多くとることが出来ました。

学校休校期間中には家庭学習の代わりにあいキッズでカリキュラムをこなせるよう手分けして準備、実施しました。普段のあいキッズにはない業務でしたが職員間で相談・協力する機会になりました。

「学校の新しい生活様式」に沿って消毒や手洗い、マスクの着用を習慣化できるよう掲示物の整備、日々の声掛けで取り組みました。家庭や学校でも同様の指導があるため子どもたちもすぐに慣れ自ら行っていました。

日々の補食では児童を分散させるため2階の部屋も使うようにしました。職員が運搬で使うエレベーターをイタズラしてしまい、万が一閉じ込め等の事故が起きることが無いように運搬の直前直後で電源を落としています。

1階多目的室の使い方で奨学会さんとの打ち合わせ不足、認識不足からご意見を頂戴する機会がありました。すり合わせをした後には使用の用途を定め、学習等でお借りしています。また、奨学会さんが活動している時には顔を出して挨拶することで関係づくりに努めていました。

3階事務スペースの動線確保、整理整頓の為、大幅な模様替えをしました。目的をもって改善することの大切さが職員間で共有出来て以降、施設内の様々な改善アイデアが出て実行、完了できたことで児童にとって過ごしやすい状態になってきています。

同法人高齢者施設「私の時間」とのコラボレーション活動として「クリスマスの壁面交換」を行いました。作成物の交換だけだったので直接の交流はできませんでしたが、外の世界との交流に参加した子供たちは心躍らせていました。

## 【利用者支援状況】

上期はお迎え時の保護者とのやり取りも文書や電話、インターホンでしていました。接触機会を減らすことで感染リスクを減らすということで理解はいただきましたがなかなか関係性を構築することが困難でした。下期

2021年6月18日

はお迎え時に職員が直接話をする事でコミュニケーションをとる機会が増えました。

新型コロナウイルスに配慮したイベントを計画し、利用する児童がいつでも誰でも楽しめるよう工夫しました。

学校と情報共有をする中で遊び時の約束に違いが生じないように配慮しました。

1年生の担任の先生方の学年会に参加し、情報共有しお互いの時間での児童の姿の伝達等を行いました。

保護者会開催時に写真の展示やスライドショーを行い、普段の様子が(言葉だけでなく)視覚で分かるようにしました。

### 【施設整備状況】

区で準備した物品 特になし

法人で購入した物品 3階、2階収納棚(3か年計画の3年目)

### 【年間利用状況】(各月平均利用数) <<さんさん一般は2019年度3月から受け入れ中止>>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	26	18	56	78	72	82	82	80	77	71	72	74	788	65.7
さんさん														
計	26	18	56	78	72	82	82	80	77	71	72	74	788	65.7

### 【利用者在籍状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
2018年度	133	395
2019年度	122	418
2020年度	177	374

### 【主なできごと】

4月: 学習TIME、春さがし

5月: 学習TIME、医療従事者の方へお手紙を描こう

6月: 学習TIME、お手紙大作戦(ボランティアセンター)、紙飛行機とばし

7月: ピカピカどろだんご

8月: ピカピカどろだんご、スクイーズ工作

9月: キッズチャレンジオンライン

10月: しむに秋フェス、自由工作、ハロウィン工作

11月: 自由工作

12月: Xmasコラボ壁面工作

1月: 自由工作

2月: 自由工作、ドロケイ

3月: 自由工作、マスクケース工作

※毎月、英語であそぼう、走り方教室を実施しています。

## 【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
3件	4年女兒 保護者	利用宣言により使えない事は困る。 どうにか利用することはできない か？	あいキッズ単独判断ではない事をお伝えした。うかが える範囲外のことについては担当課への連絡を勧め ました。
	3年女兒 保護者	体育館あそびで遊んでいた子とぶ つかってしまい謝ってもらえなかつ たことが嫌で泣いて帰ってきた。	ぶつかった際に直ぐに対応できなかったことを謝罪し ました。後日、何かあった際に直ぐに伝えに来てほ しいことを児童に伝えました。
	3年男兒 保護者	4年男兒から遊びの中で首を絞め られた。職員にも話したがきちんと 対応してもらえなかったと言ってい る。	気持ちを汲み取って対応できなかったことを謝罪しま した。その場では対応し、解決したと思っていたが燻 っていたことが要因でした。退室時に一声かける等今 後に向け声掛けをすることをチーム内で共有しまし た。

## 【その他】

## ① 安全管理

## ・ 避難訓練

避難訓練を予定通り行いました。

必要に応じて職員向けの避難訓練の研修を開催し、安全管理に努めました。

## ・ 健康管理

アレルギー児童へは保護者と面談の上、アレルギー食品を除去した安全な補食を提供できるように配慮し  
ました。

受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。

夏季に限らず水分補給の重要性を伝え、活動中の児童へ適宜呼びかけました。

日常的に《消毒・手洗い》の指導をしました。

## ・ 衛生管理

チェックリストを基に、室内が衛生的に保たれるよう掃除や消毒を継続しました。

衛生管理表を基に、補食配膳時に衛生的な環境が保たれるよう配慮しました。

## ・ 安全管理

職員会議にて他施設で起きた事故の事例検討を行い、自施設に置き換えて対応できるようにしました。

始礼や職員会議時に施設の危険箇所を共有し、児童の安全管理に努めました。

## ② 地域交流

毎年恒例となっている「奨学会」と「おやじの会」はコロナ対策の為、中止となりました。令和三年度に開催  
する場合には是非協力したいことを確認、共有しています。

「南蔵院子ども食堂」の活動は中止となりましたがお弁当の配付などのチラシ配り、声掛け等で保護者へ  
活動の情報の橋渡しをしました。

「あいキッズ運営協議会」を书面配付に代えて7月、2月に開催しました。

対面で渡せる方については挨拶と併せて直接お伺いして配付しました。

2021年6月18日

ボランティアセンターの「想いを届けよう」の活動に参加しました。活動の様子はボランティアセンターの広報誌にも掲載されました。